

【平成 25 年度・前期学期・マクロ経済学 I・課題 5】

☆ 平成 25 年 7 月 22 日、講義開始時締切

【問 1】 次のように中央銀行が政策ツールを使い貨幣供給量を調整するが、後の設問に答えなさい。

- (1) 公開市場操作はどのような手法で、どのように貨幣供給量に影響を与えるかを述べなさい。
- (2) 日本銀行の場合、どのような利率率をもとに政策目標を設定しているか述べなさい。
- (3) 下記のように政策ツールが変更された場合、これらの操作がどのように、またどの方向で貨幣供給量が増えるか説明しなさい。(各 3 行程度で答えること) また、貨幣市場において、貨幣需要が一定である場合には、市場の一般的な利率率はどのように変化するか図を描いて説明しなさい。
 - (ア) 中央銀行が、公開市場操作で買いオペを行った。
 - (イ) 中央銀行が、公開市場操作で売りオペを行った。
 - (ウ) 中央銀行が、法定準備率操作で法定準備率を下げた。
 - (エ) 中央銀行が、法定準備率操作で法定準備率を上げた。

【問 2】 貨幣の機能と保有動機について以下の設問に答えなさい。

- (1) 貨幣の機能を 3 つ述べなさい。
- (2) 貨幣の保有動機を 3 つ述べ、貨幣需要関数にどのように影響するか述べなさい。(予備的動機については述べなくてよい)

【問 3】 債券について次の設問に答えなさい。

- (1) 債券の 3 要素とは何か述べなさい。
- (2) ある債券が額面 1000 万円で利札率(クーポンレート)が 3%であった。この債券が 2 期後に満期となる場合、この債券の与えるキャッシュフローを示す図を描きなさい。
- (3) (2) で示された債券の債券価格を求めなさい。

【問 1】 【問 4】 次のように一般均衡モデルが与えられている場合、について後の問に答えなさい。

$$\text{総需要関数: } AD = C + I + G$$

$$\text{消費関数: } C = 50 + 0.6Y$$

$$\text{投資需要関数: } I = 90 - 1000r$$

$$\text{貨幣需要関数: } Md = 120 - 2000r + 50Y$$

但し、 Y は総所得、 r は利率率、 G は政府支出である。

- (ア) 今、貨幣市場を無視して(つまり、貨幣供給、貨幣需要関数は考えないでよい)、利率率が外生的に 1% ($r=0.01$) であると仮定した場合について投資需要量を(投資需要関数を使って)求めなさい。
- (イ) 今、 $G=50$ と所与で与えられているとする。また、(ア)と同様、貨幣市場を無視した場合、経済の均衡所得はいくらになるか計算しなさい。但し、 I は(ア)で求めた量であるとする。
- (ウ) (イ)でもとめた均衡所得における貨幣需要量を求めなさい。
- (エ) 今、政府支出が 60、貨幣供給(M_s)が 40 である場合について、この経済の均衡を求めなさい。